

精米事業者のとう精数量実績調査結果（とう精数量）について

○ 精米事業者による令和7年7月～令和8年5月のとう精数量は、前年（令和6/7年）の同期と比べ、減少（対前年差▲19.5万玄米トン、対前年比93.7%）。

○ とう精数量の推移（速報）

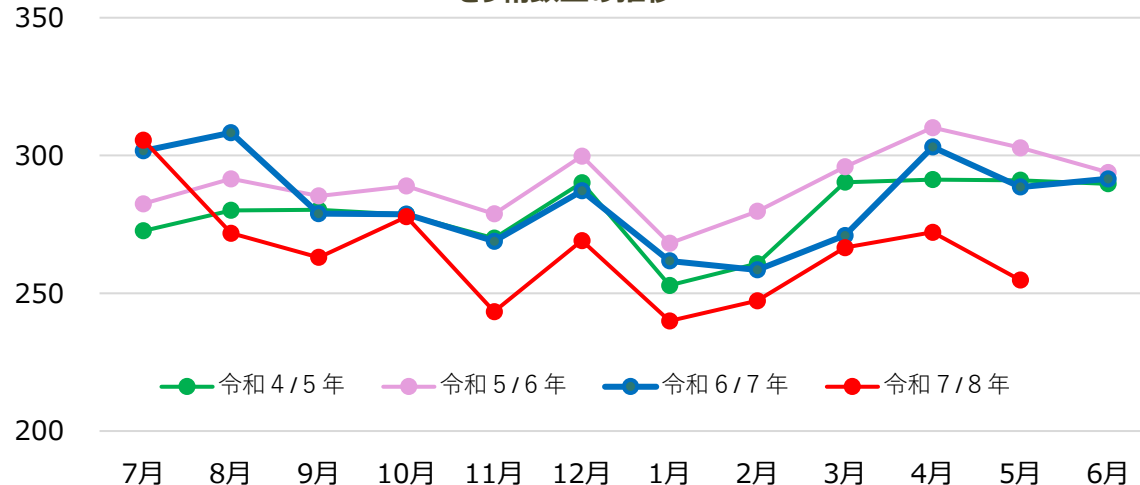
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年計	7～5月計	対前年同期差	対前年同期比	対3カ年平均同期差	対3カ年平均同期比
令和4/5年	272.7	280.1	280.3	278.6	270.0	290.1	252.9	260.8	290.3	291.2	291.0	289.7	3,347.7	3,058.0	—	—	—	—
令和5/6年	282.5	291.5	285.3	288.9	278.8	299.8	268.1	279.7	295.9	310.1	302.8	293.8	3,477.3	3,183.4	+125.5	104.1%	—	—
令和6/7年 (備蓄米除く)	301.7 (301.7)	308.3 (308.3)	278.9 (278.9)	278.7 (278.7)	268.9 (268.9)	287.2 (287.2)	261.7 (261.7)	258.5 (258.5)	271.0 (271.0)	303.1 (271.8)	288.6 (235.7)	291.5 (202.4)	3,398.0 (3,224.7)	3,106.4 (3,022.2)	▲77.0 (▲161.2)	97.6% (94.9%)	—	—
3カ年平均	285.6	293.3	281.5	282.1	272.6	292.4	260.9	266.3	285.7	301.5	294.1	291.7	3,407.6	3,115.9	—	—	—	—
令和7/8年 (備蓄米除く)	305.6 (206.9)	271.8 (211.0)	263.0 (233.1)	277.7 (256.1)	243.3 (230.8)	269.1 (261.7)	240.0 (233.8)	247.3 (243.3)	266.6 (264.0)	272.1 (271.2)	254.8 (254.3)		— —	2,911.3 (2,666.0)	▲195.1 (▲356.2)	93.7% (88.2%)	▲204.6 (—)	93.4% (—)

注1：とう精数量は、398の精米事業者の実績を集計した速報値。

注2：とう精数量は、玄米投入量である。

(千玄米トン)

とう精数量の推移



精米事業者のとう精数量実績調査結果（精米歩留り）について

- 令和7年産の精米歩留り（令和7年7月～8年5月）は、88.8%。
- 令和7年産の精米歩留りを令和2～6年産平均と比較すると0.8%減少しており、主食用米等生産量747万玄米トンから生産される精米量は5万精米トン程度減少（精米するための玄米の必要量は6万玄米トン程度増加）することが見込まれる。

○令和7年産の精米歩留り（今回の調査結果）

(千トン)

	令和7年7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和8年1月	2月	3月	4月	5月	計
玄米使用数量【A】	2	19	54	109	131	170	163	187	211	214	208	1,468
製品出来高数量【B】	2	17	48	97	117	151	145	166	187	190	185	1,304
精米歩留り【B/A】	88.7%	88.4%	88.7%	88.9%	89.0%	88.8%	88.7%	88.8%	88.8%	88.9%	88.9%	88.8%

注）とう精数量実績（精米歩留り）は、398の精米事業者の実績を集計した速報値。

（参考）過去（令和2～6年産）の精米歩留り（前回の調査結果）

2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
89.7%	90.3%	90.0%	88.6%	89.2%	89.6%

注）令和7年6月末時点の令和2～6年産の精米歩留りについて、43事業者（大手卸売業者10社、地方卸売業者23社、米穀店10社）を対象に実施した調査結果。